

「あるくす Lake Town まちづくりデザインガイド」

の運用について補足

1. 運用指針「チェックシート」の添付資料について

「あるくす Lake Town まちづくりデザインガイド」最終ページに運用指針が記載されています。

その中で「まちづくり行為（建物新築等）」を行う方々（地権者またはその委託を受けた設計者、事業者）には、計画内容がわかる図面などとともに、「チェックシート」様式に記載し提出いただくことになっています。提出物、添付資料は以下のものとします。

[提出いただくもの]

■ チェックシート：

デザインガイドに挟まれている 裏表A4版用紙 1部

■ 添付いただく資料：

1. 配置図 敷地外構の植栽、床舗装の状況を記入したもの
2. 各階平面図
3. 立面図 外壁の仕上、色彩がわかるもの
(色彩未定の場合おおよその決定時期記載をお願いします)
4. 断面図 各階及び全体高さがわかるもの
5. その他

2. 提出先 電子メールにて上記資料一式下記へ送付願います
必ず電話にて確認をお願いします

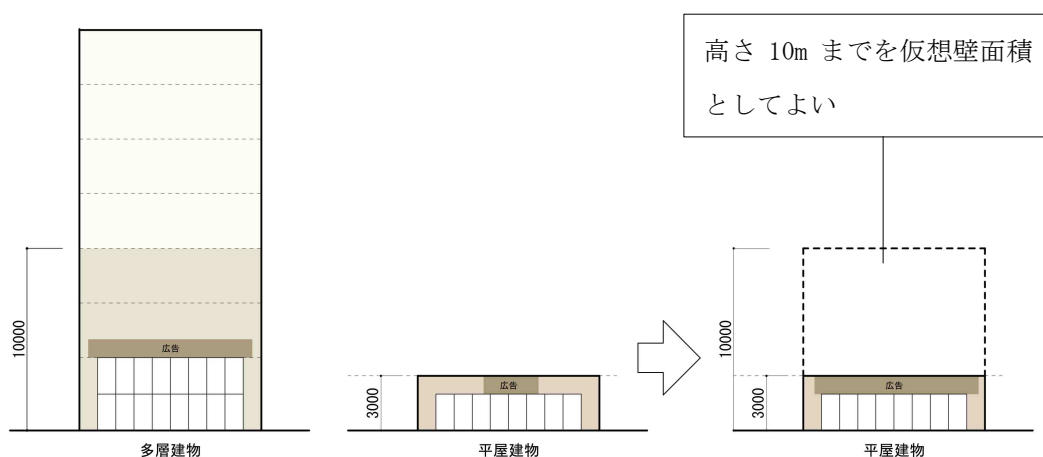
久間 (きゅうま) 建築設計事務所 東京都武蔵野市吉祥寺東町1-2-2-301

メールアドレス：kyu@kyuma.net TEL：0422-28-1991

3. 低層建築における看板、広告、色彩等の大きさに関するデザインガイドの解釈追加（仮想壁面積）

平屋1階建てなど低層の建物は、大きな壁面積の多層建物に比べ、広告1／10、アクセントカラー1／20という大きさの割合規定の分母である見付壁面積が小さいため、設置できる看板大きさが小さくなってしまいます。

（例えば、下図のように同じ1階店舗が並んでも上の方に建物が載って、高さ10m以上の壁がある店舗は高さ10mまでの壁面積を分母にした大きな看板ができますが、平屋1階建てでは高さ3m程度の壁面積を分母にした小さな看板しかできません。）



面積割合の規定では、当初平屋を想定しておらず、この点を解消するため、「10m未満の建物では低層部高さ10mまで建物壁面があるものとしての仮想壁面積を分母としてよい」とします。